



2009/12/19 平成21年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会
Match Result



試合番号 209 A 試合会場レポート

■会場	東京体育館(東京都渋谷区)	試合開始: 17:00	試合時間 1:59
観客数 4,000	主審: 塚本 健	副審: 印藤 智一	



東レアローズ

- 監督 : 秋山 央
- コーチ: 掛川 厚志

■第1セット出場メンバー

12 ホヨビッチ	17 篠田	10 越谷
14 今田	1 富松	9 阿部

- ()内は交代選手
- リベロ: 2 田辺 修



JTサンダース

- 監督 : メイフォース ゴードン
- コーチ: 久保 義人

■第1セット出場メンバー

11 ゴメス	1 宮下	13 国近
9 甲斐	2 町野	19 井上
	8 (中山)	15 (菅)

- ()内は交代選手
- リベロ: 3 酒井 大祐

得点	セット時間	得点
25	1set(21')	19
22	2set(25')	25
24	3set(24')	26
25	4set(23')	19
12	5set(14')	15
108	Total	104
2	セット数	3

■Match Comment

第1セット、東レアローズはホヨビッチを中心に攻撃を仕掛ける。キレのあるスパイクで得点を重ねるものの、ミスも多く点差はあまり開かない。対するJTサンダースは、ゴメス、宮下、甲斐と幅のある攻撃で応戦する。中盤、東レは越谷の安定したサーブレシーブとブロックが決め手となり、得点を重ねセットを先取した。

第2セット、JTは宮下、国近の攻撃が冴え、終始リードする形でゲームは進む。終盤で東レが追いあげてくるものの流れはJTにあり、JTがセットを取り返した。

第3セット途中から、東レは米山を起用し反撃を仕掛ける。要所で篠田の活躍もあり終盤にはJTに追いつき粘りを見せる。しかし、流れに乗ったJTの勢いは止まらず、このセットもJTが取った。

第4セット、東レは序盤から多様な攻撃で一気にJTを突き放す。JTも粘りを見せるが追いつかず、最終セットへともつれ込んだ。

最終セット、両チーム気合の入った攻撃。一進一退の攻防は終盤まで続く。ゴメスの攻撃を機に、JTがリードを見せ、そのままセットを取り、セットカウント3-2でJTが勝利を収めた。

■Coach Comment: 秋山 央(東レアローズ)

厳しい戦いになると想像していたが、選手達は試合前半からうちのチームらしい闘志溢れるプレーをしてくれたと思う。

今大会での課題を次の試合に繋げたいと思う。
ご声援ありがとうございました。

■Coach Comment: メイフォース ゴードン(JTサンダース)

第1セットから失点が少ないチームがセットを取っていた。

最後まで集中し失点を少なく出来たことが良かった。

明日もJTらしいバレーで優勝を目指したい。大きなご声援ありがとうございました。

■作成者: 丸山 由紀

※ 本票の著作権は財団法人日本バレーボール協会に帰属します。